

CONTENTS

002	はじめに
003	トピックス
004	日本税関の使命
006	「スマート税関構想 2020」
010	水際における厳格な取締り
012	摘発実績・摘発事例
014	テロ・大量破壊兵器対策
016	知的財産侵害物品の取締り
020	税関収入額の推移・事前教示制度
021	輸入事後調査・犯則調査
024	AEO 制度
026	AEO 制度の効果
028	海外の AEO 制度との連携
030	輸出入申告官署の自由化
032	通関手続等の迅速化
035	シングルウィンドウ
039	WTO における取組
040	経済連携の推進
042	APEC：アジア太平洋経済協力
043	ASEM：アジア欧州会合
044	WCO：世界税関機構
046	関税技術協力
047	WCO 地域研修センター
047	WCO 地域税関分析所
048	期待される税関職員の育成と研修
053	関税局・税関の組織
054	日本税関の管轄区域
056	日本税関の歩み
058	税関 150 周年
060	税関業務の現状
061	不正薬物の国内全押収量に占める割合
062	NACCS によるシステム処理件数及び処理率
063	特恵受益国及び地域一覧表
064	特恵関税制度
065	貿易統計
068	お問い合わせ先

「世界との協調」を大切にし、税関の使命を果たします。

はじめに

財務省関税局・税関は、水際における法執行を通した国民生活の安全・安心の実現、関税・消費税等の適正かつ公平な徴収、税関手続の迅速化などの貿易の円滑化、更には世界貿易の健全な発展に向けた取組など、様々な課題に日々取り組んでいます。

新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受けて、物流がますます重要となる中、税関は通関手続等の迅速かつ適切な対応を緊張感を持って取り組んでおります。

国民生活の安全・安心の実現につながる水際取締りは、私どもの重要な使命です。覚醒剤・大麻などの不正薬物や銃砲等の社会悪物品・テロ関連物資をはじめとして、知的財産侵害物品、偽造有価証券、盗難自動車等の密輸出入に対する水際での取締りをより一層強化しています。

同時に、水際における関税・消費税等の適正かつ公平な徴収も私どもの重要な使命です。2023年度では租税及び印紙収入の約16.9%に相当する額（約13.1兆円）を徴収しており、税関は、国税の徴収機関として、適正かつ公平な課税の実現に努めています。

さらに、国際物流が高度化・多様化

する中で、貿易のセキュリティの確保と円滑化を両立させることも私どもに課せられた使命です。このため、我が国は、WCO（世界税関機構）の「SAFE基準の枠組み」に沿いながら、各国とも協調しつつ民間企業とのパートナーシップを構築して、貨物のセキュリティ管理と法令遵守体制が整備された事業者を税関が認定し、税関手続の簡素化等のベネフィットを与えるAEO（Authorized Economic Operator）制度の実施に取り組んでいます。

これらを支える税関のインフラとして、最先端のIT化を実現するとともに、新たな検査機器の開発を行い、新しい時代の内外の要請に応じることのできる職員の育成にも取り組んでいるところで

す。

財務省関税局は、関税制度や税関行政を所管する立場として、貿易交渉にも貢献しています。

我が国は、経済連携交渉を、戦略的かつスピード感を持って推進することとしており（「成長戦略フォローアップ」（令和元年6月21日閣議決定））、こうした政府の方針の下、財務省関税局は、関係各省とともに各国とのEPA（経済連携協定）交渉に積極的に参画すると

もに、WTO（世界貿易機関）を中心とした多角的自由貿易体制の維持・強化にも取り組んでいます。

また、税関手続の国際的な調和・統一及び税関行政の国際協力の推進など、WCOを中心とした、取組みに積極的に参加・推進するとともに、従来から進めてきているアジア諸国を中心とした関税技術協力についても更に強化を図っています。

税関は、令和4年（2022年）11月、税関が運上所から改称され正式に発足してから150周年を迎えました。新たな時代の幕開けを迎え、20年後、30年後も更なる国民の期待に応えていくために、中長期ビジョン「スマート税関構想2020」により世界最先端を目指します。

今後とも、財務省関税局・税関は、国民の声を聞きながら、国内外の経済社会情勢の変化に的確に対応するため、国内の関係機関との連携を一層深めつつ、諸外国税関とも協調し、私どもの使命を果たすよう、最大限努力してまいります。

2023年6月

財務省関税局

不正薬物の押収量が初の2年連続2トン超え

令和6年に全国の税関が摘発した不正薬物^{*1}全体の摘発件数は1,020件(前年比24%増)と増加し、押収量^{*2,3}は約2,579kg(同6%減)と減少しました。不正薬物全体の押収量は、初めて2年連続で2トンを超え、過去3番目を記録し、極めて深刻な状況となっています。また、大麻^{*4}と麻薬の摘発件数が過去最高を記録しました。

- *1 覚醒剤、大麻、あへん、麻薬（ヘロイン、コカイン、MDMA等）、向精神薬及び指定薬物をいう。
- *2 錠剤型薬物を除く。 *3 重量等未確定につき含まれないものがある。以下、個々の押収量についても同様。
- *4 大麻には、令和6年12月12日に施行された大麻取締法及び麻薬及び向精神薬取締法の一部を改正する法律における、麻薬である大麻及びTHC類製品を含む。THC類製品とは、大麻の有害成分であるTHC類（テトラヒドロカンナビノール類）を含有する液体や菓子類をいう。

不正薬物を大量摘発

事例①≫海上貨物

メキシコから到着した海上貨物（コンテナ）に隠匿された覚醒剤約531kgを摘発しました。

| 令和6年4月・横浜税関 |



事例②≫洋上取引

千葉県沖において洋上取引されたコカイン約178kgを千葉県館山市の漁港において摘発しました。

| 令和6年5月・横浜税関等 |



事例③≫航空貨物

メキシコから到着した航空貨物（ブルーベリーのプラスチック容器）に隠匿された覚醒剤約59kgを摘発しました。

| 令和6年10月・横浜税関等 |



事例④≫航空機旅客

タイから福岡空港に到着した旅客の携帯品（布製バッグ等）に隠匿された覚醒剤約11kgを摘発しました。

| 令和6年3月・門司税関 |



事例⑤≫航空機旅客

タイから成田国際空港に到着した旅客の携帯品（スーツケース）に隠匿された大麻草約16kgを摘発しました。

| 令和6年9月・東京税関 |



事例⑥≫国際郵便物

オランダから到着した国際郵便物（浄水器）に隠匿されたケタミン約3kgを摘発しました。

| 令和6年9月・名古屋税関 |



金地金の密輸入493件／押収量は約1,218kg

令和6年に全国の税関が摘発した金地金^{*}密輸入事件の摘発件数は493件(前年比約2.3倍)、押収量は約1,218kg(同約4倍)と共に増加しました。訪日外国人旅行者数の急増や金価格の高騰等を受け、金地金の摘発件数・押収量が増加しているところ、引き続き厳格な水際取締りを実施していきます。

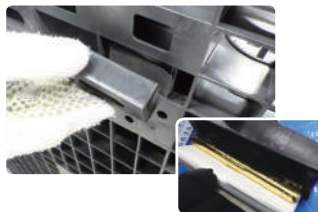
^{*}金地金には、金塊に加えて一部加工された金製品も含む。

巧妙な隠匿手口

事例①≫航空貨物

香港から到着した航空貨物（プラスチック製パレット）に隠匿された金地金約160kgを摘発しました。

| 令和6年1月・大阪税関 |



事例②≫洋上取引

愛媛県沖において洋上取引された金地金約40kgを愛媛県今治市の浮桟橋において摘発しました。

| 令和6年11月・門司税関 |



Mission of Japan Customs

世界最先端の税関をめざして

Goal : Customs at the Leading Edge of the World

貿易の健全な発展と安全な社会を実現するため、
世界最先端の税関をめざします。



世界最先端の税関

税関の三つの使命

- 1 安全・安心な社会を実現する**
不正薬物・銃砲等の密輸阻止を最重要課題とするとともに、我が国におけるテロ行為等を未然に防止することにより「世界一安全な国、日本」を築く。
- 2 適正かつ公平に関税等を徴収する**
関税・消費税等あわせて約 13.1 兆円すなわち租税及び印紙収入の約 16.9%に相当する額を徴収する歳入官庁として、適正かつ公平に関税等を徴収する。
- 3 貿易円滑化を推進する**
国際物流におけるセキュリティを確保しつつ、AEO制度の推進やIT化等を通じて、通関手続を一層効率化・迅速化し、利用者の利便性の向上を図る。
EPA (Economic Partnership Agreement) 交渉等を通じて、多角的自由貿易体制を維持・強化し、我が国の経済の成長に貢献する。

安全・安心な社会の実現

適正かつ公平な関税等の徴収

貿易円滑化の推進

実現のための施策

先端技術を活用した 検査機器の配備

不正薬物・爆発物等を探知する先端技術を調査・研究するとともに、さらに有効な検査機器を配備していきます。

民間企業との協力

民間企業と税関とのパートナーシップの構築により、国際標準に則った「AEO制度」の実施に取り組みます。

貿易交渉の推進

税関手続の国際的調和・簡素化のほか、税関協力や情報交換等を取扱うEPA交渉等を推進することで、税関の使命を実現していきます。

関係機関との協力

関係機関と日頃から緊密な連携・情報交換を行い、政府一体となって厳格な取締りを実施していきます。

IT化の推進

税関手続のIT化を一層進めることで、輸出入手続の更なる簡素化・効率化を実現し、利用者の利便性の向上を図ります。

各国税関等との協力

税関相互支援協定の締結など諸外国の税関との連携を進めることにより、税関行政の更なる質の向上に努めています。



「スマート税関構想」

税関の中長期ビジョン

世界最先端の税関 (スマート税関)を目指して

「スマート税関構想2020」(2020年6月)

「スマート税関構想2020」は4つのキーワードで構成



4つのキーワードの頭文字をとって「SMART」

税関 HP 特設ページ

検索



動画イメージ (Youtube)

検索

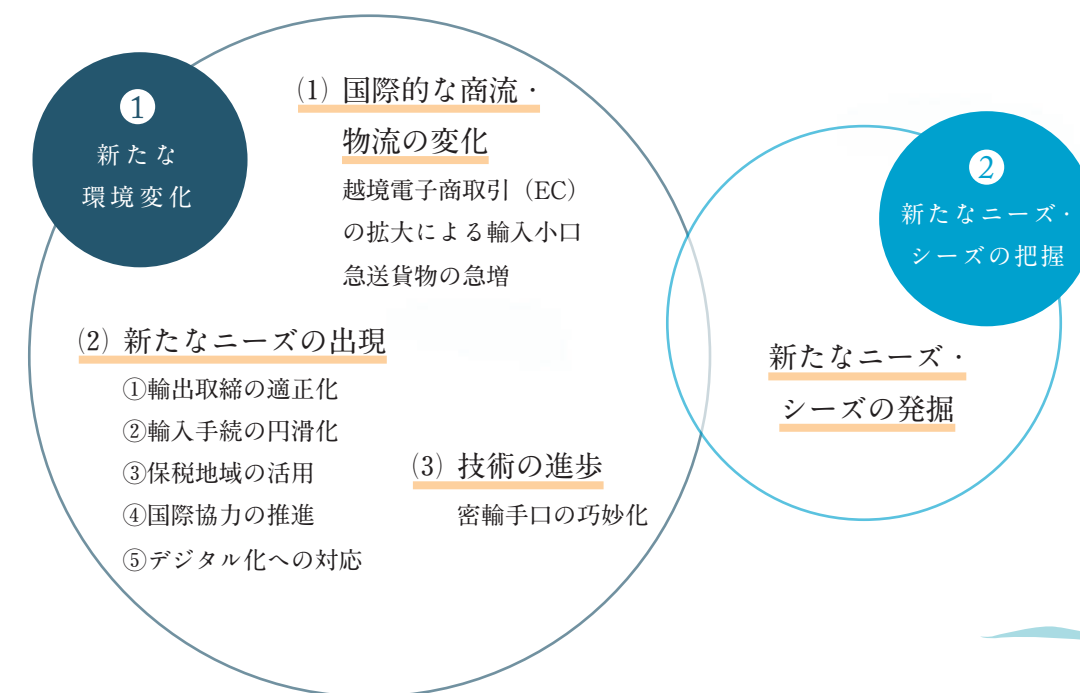


訪日外国人旅行者数の増大、越境電子商取引の更なる進展、社会構造の変化等、税関を取り巻く環境は今後も大きく変化し続けることが予想されます。

そのような中、税関業務の高度化・効率化を進めるとともに、利用者への一層の利便向上を図り、20年後、30年後も国民の期待に応えられるよう取り組んでいきます。

「スマート税関の実現に向けたアクションプラン2022」(2022年11月)

スマート税関構想策定後の、



スマート税関構想に掲げる施策をアップグレード

新規施策+継続施策の見直し

国民一人ひとりの
幸せな未来を守るために。

SMART Customs Initiative